

(1) SDGs (Sustainable Development Goals) *16

SDGsとは2015年に国連で採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」で、国連加盟193カ国が達成を目指す2016年～2030年までの国際目標です。「誰ひとり取り残さない」という共通理念のもと、17の目標と169のターゲットで構成されています。SDGsには5つの主要原則が求められています。

1. 普遍性	国内実施と国際協力の両面で率先して取り組む
2. 包摂性	人権の尊重とジェンダー平等の実現を目指し、脆弱な立場の人々まで誰ひとり取り残さない
3. 参画性	あらゆるステークホルダーや当事者の参画を重視し、全員参加型で取り組む
4. 統合性	経済・社会・環境の3分野の統合的解決の視点を持って取り組む
5. 透明性と説明責任	取り組み状況を定期的に評価、公表する

(2) 企業がSDGsに取り組む理由（必要性）*16

人間が環境保護や人権を考慮せず、利益を追求して野放図に振る舞い続けられれば、世界が立ち行かなくなります。「自分たちさえよければいい」では結果的に自分の首を締めることとなります。SDGsは私たち人類と地球を守るために達成しなければいけない国際公約です。

世界がSDGs達成を目指す中、これを無視する事業活動は企業の持続可能性を揺るがす「**リスク**」になります。一方で、企業がビジネスを通じてSDGsに取り組むことは企業の基盤強化と共に市場獲得の大きな「**機会**」になります。

環境省は、中小企業の方がむしろ大企業よりもSDGsの達成に向けて取り組みやすいと指摘し、4つのメリットを挙げています。

① 企業イメージの向上

SDGsへの取組をアピールすることで多様性に富んだ人材確保につながる

② 社会の課題への対応

経営リスクの回避とともに社会への貢献や地域での信頼確保につながる

③ 生存戦略になる

ビジネスにおける取引条件や持続可能な経営を行う戦略として活用できる

④ 新たな事業機会の創出

今まで無かったイノベーションやパートナーシップを生むことにつながる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



□ SDGsを理解するためのチェックポイント*16,*17

☆SDGsで設定されている169のターゲットには2つのタイプがあります。数字のみのターゲットは具体的な目標、アルファベットを含むターゲットは実施手段を表示しています。

☆SDGsは5つのPで分類されています。

- ① People (人間) 貧しさを解決し、健康に [ゴール1～6]
- ② Prosperity (豊かさ) 経済的に豊かで、安心して暮らせる世界に [ゴール7～11]
- ③ Planet (地球) 自然と共存して、地球の環境を守る [ゴール12～15]
- ④ Peace (平和) 争いのない平和を知ることから実現 [ゴール16]
- ⑤ Partnership (パートナーシップ) みんなが協力し合う [ゴール17]

☆ほとんどの中小企業ではSDGsについて理解が進んでいません。日本の企業は欧州企業に比べて、SDGsが「ビジネス機会」に繋がるという意識が低いようです。

☆SDGsに法的拘束力はありませんし、達成できなくともペナルティもありません。ただし、社会的な拘束力があります。

☆高い理想を目指して取り組む活動だからこそ、「SDGsウォッシュ※」ではないかと疑念や批判を招かないような配慮が求められます。

※SDGsウォッシュは、英語で「ごまかし」「粉飾」を表す“white wash”とSDGsを組み合わせた造語で、ヨーロッパで使われ始めている言葉です。

(3) SDGs に取り組むための手順例

● SDG Compass*18

SDGコンパスは企業が如何にして SDGsを経営戦略に統合させ、SDGsへの貢献を測定・管理していくのかの指針として、国連グローバルコンパクト等が作成したものです。

SDGコンパスでは SDGsに取り組むために5つのステップを推奨しています。

STEP1: SDGsを理解する

SDGsを理解することなくしてアクションは起こせない

STEP2: 優先課題を決定する

自社で取り組み優先課題を絞り込む

STEP3: 目標を設定する

アウトサイド・インで意欲的な目標を設定する

STEP4: 経営へ統合する

SDGsを組織に定着させて全社的な取組にする

STEP5: 報告とコミュニケーションを行う

内外への報告を有効に利用して取組を推進させる

※STEP 2からSTEP5を繰り返し、企業活動をブラッシュアップ



● SDGs活用ガイド*19

環境省では中小企業向けに SDGs活用ガイドを作成しており、PDCAサイクルによる5段階の取組手順が示されています。

手順1: 取組の意思決定 (話し合いと考え方の共有)

手順2: 取組の着手 (自社の活動内容の棚卸し、SDGsを紐付け)

手順3: 具体的な取組の検討と実施 (取組の目的・内容・ゴール・担当の決定)

手順4: 取組状況の確認と評価 (取組を実施し、その結果を評価)

手順5: 取組の見直し (一連の結果の整理、外部への発信、そして次の展開)

● SDGs経営ガイド*20

経済産業省では「SDGs経営 / ESG投資研究会」における議論の成果を、企業価値の向上に向けて不断の努力を続けている企業にとって、今後の SDGsの取組の羅針盤となる「SDGs経営ガイド」を発行しています。

□ SDGsに取り組むためのチェックポイント

★SDGsは野心的な目標を掲げ、未来のあるべき姿から今やるべきことを逆算して考えて行動する「バックキャスト」の考え方が求められています。

★SDGsは社会・環境問題の解決を第一に考え、そのために自分たちは何をすべきかを考えて行動する「アウトサイド・イン」の発想が求められています。

(4) 中小事業者が取り組む SDGs の事例*21

中小事業者が上記の SDGsの取組手順に従って、組織の中に取り入れた工務店の事例を紹介します。

この取組手順の特徴は、ステップ2で事業者の過去の取組を振り返り、SDGsとの紐付けを「後づけマッピング」とし、次のステップ3においてバックキャストで経営ビジョンと優先的取組のSDGsを「先づけマッピング」しているところです。

SDGsに取り組んでいると言っている事業者の中には、自社の過去の取組とSDGsの紐付けで終わっているところがみられます。ここでいうステップ3以降の取組が事業者には求められます。



建築関連産業とSDGs編集委員会「これからの工務店経営とSDGs(持続可能な開発目標)」2020.2をもとに作成

(1) ふくおかエコライフ応援サイト

ふくおかエコライフ応援サイトでは、気候変動等に関する情報提供等を行っています。県内の温室効果ガス排出量などの情報の他、環境用語集などもあります。ぜひご覧いただき、エコ情報ポータルサイトとしてご活用ください。



(2) エコふぁみアプリ

福岡県では家庭からのCO₂排出削減をサポートするためのアプリを作りました。「エコふぁみ」です。



グラフでは、対前年度や九州平均との比較もできるため、自分の生活の振り返りができます。

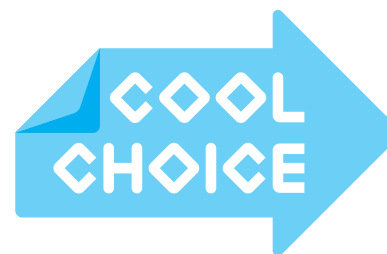
また、毎日エコチェックでは、すぐにできるエコ活動をピックアップしているため、ぜひ選択肢に出ている活動を取り組んでみてください。



ダウンロードはこちらから

(3) COOL CHOICE

環境省では、地球温暖化防止に貢献するあらゆる選択を「COOL CHOICE」と呼び、その取組を推進しています。



未来のために、いま選ぶ。

●COOL CHOICEメニュー *22



職場でできる COOL CHOICE もたくさんあります。

- PCの省エネ設定
- 照明のLED化
- WEB会議
→移動時間や交通費の削減
- エコペーパー(再生紙の使用)
- ペーパーレス
- オフィス宅配受取
→オフィス受取で再配達防止

●賛同登録

COOL CHOICEの考え方に共感し実践してくださる方には、「賛同」をお願いしています(2021年5/31現在で約1,370万人が賛同)。賛同は個人と団体の2種類あります。会社全体の賛同登録(団体賛同)もできます。

- 団体賛同の申請は、ふくおかエコライフ応援サイトからも可能です。ふくおかエコライフ応援サイトから申請いただくと、ご要望に応じて、①会社名、②会社HPのURL、③スローガン、④取組み紹介をサイト上で公表します。詳しくは「ふくおかエコライフ COOL CHOICE」で検索してください。

●COOL CHOICEアプリ

COOL CHOICEアプリでは、

- 気候変動の基本情報
- 各地の影響や対策に関する動画
- 著名人からのメッセージ

など、様々なコンテンツから気候変動について知ることができます。



ダウンロードはこちらから

法律・条例名称	問い合わせ先・電話番号
【法律】 ●環境基本法 ●環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律	環境政策課(企画調整班) 092-643-3355
【法律】 ●特定工場における公害防止組織の整備に関する法律 ●瀬戸内海環境保全特別措置法 ●公害健康被害の補償等に関する法律 ●地球温暖化対策の推進に関する法律 ●気候変動適応法 ●ダイオキシン類対策特別措置法 ●大気汚染防止法 ●騒音規制法 ●悪臭防止法 ●振動規制法 ●水質汚濁防止法 ●湖沼水質保全特別措置法 ●特定水道利水障害の防止のための水道水源水域の水質の保全に関する特別措置法 ●特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(PRTR法) ●フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法) ●土壌汚染対策法 ●有明海及び八代海等を再生するための特別措置に関する法律 ●石棉による健康被害の救済に関する法律 ●環境教育等による環境保全の取組の促進に関する法律 ●国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法) ●国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律(環境配慮契約法) ●公害紛争処理法(※自然環境課と共管)	環境保全課 (調査指導係) 092-643-3359 (地球温暖化対策係) 092-643-3356 (大気係) 092-643-3360 (水質係) 092-643-3359 (土壌係) 092-643-3361
【条例】 ●福岡県公害防止等生活環境の保全に関する条例 ●水質汚濁防止法第三条第三項の規定に基づく排水基準を定める条例 ●福岡県産業廃棄物税基金条例	
【法律】 ●循環型社会形成推進基本法 ●容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法) ●特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法) ●資源の有効な利用の促進に関する法律 ●使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法) ●食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)(食品ロスに関する事)	循環型社会推進課 (企画係) 092-643-3371 (リサイクル係) 092-643-3372 (事業化推進係) 092-643-3381
【条例】 ●福岡県産業廃棄物税基金条例	
【法律】 ●廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ●浄化槽法 ●使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法) ●下水道法(※下水道課と共管) ●ダイオキシン類対策特別措置法 ●ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 ●下水道の整備等に伴う一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法 ●美しく豊かな自然を保護するための海岸における良好な景観及び環境の保全に係る海岸漂着物等の処理等の推進に関する法律(海岸漂着物処理推進法)	廃棄物対策課 (計画指導係) 092-643-3363 (施設第一係) 092-643-3398 (施設第二係) 092-643-3364
【条例】 ●福岡県ごみ散乱防止条例 ●福岡県産業廃棄物処理施設の設置に係る紛争の予防及び調整に関する条例 ●福岡県使用済自動車等の適正な保管の確保に関する条例 ●福岡県産業廃棄物の不適正処理の防止に関する条例 ●福岡県浄化槽保守点検業者の登録に関する条例	
【法律】 ●廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物有害使用済機器に係る検査及び違反行為等是正に関する事) ●廃棄物の処理及び清掃に関する法律(産業廃棄物に係る検査及び違反行為等是正に関する事) ●ダイオキシン類対策特別措置法(産業廃棄物に係る焼却施設から排出されるばいじん等の処理に関する指導及び産業廃棄物産業最終処分場の維持管理に関する事) ●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施に係る対象建設工事現場への立入検査及び違反行為等是正に関する事) ●特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法	監視指導課 092-643-3395

法律・条例名称	問い合わせ先・電話番号
【条例】 ●福岡県使用済自動車等の適正な保管の確保に関する条例(事務所等への立入検査及び違反行為等是正に関する事) ●福岡県産業廃棄物の不適正処理の防止に関する条例(産業廃棄物の排出事業者等の事務所等への立入検査及び違反行為等是正に関する事)	監視指導課 092-643-3395
【法律】 ●温泉法 ●自然公園法 ●自然環境保全法 ●瀬戸内海環境保全特別措置法(自然海浜の保全に関する事) ●環境影響評価法 ●鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律(※畜産課と共管) ●生物多様性基本法 ●公害紛争処理法(※環境保全課と共管)	自然環境課 (環境影響審査係) 092-643-3368 (野生生物係) 092-643-3367 (自然公園係) 092-643-3369
【条例】 ●福岡県立自然公園条例 ●福岡県環境保全に関する条例 ●福岡県自然海浜保全地区条例 ●福岡県環境影響評価条例 ●福岡県公害紛争処理条例	
【法律】 ●水道法 ●水道原水水質保全事業の実施の促進に関する法律	水資源対策課 水道整備室 092-643-3376
【条例】 ●福岡県流域下水道条例 ●下水道法(※廃棄物対策課と共管)	下水道課 092-643-3727
【条例】 ●騒音防止条例	県警本部生活保安課 092-641-4141
【法律】 ●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(土木工事の特定建設資材に係る分別解体等に関する事)	企画課技術調査室 092-643-3644
【法律】 ●建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)(建築物の特定建設資材に係る分別解体等に関する事) ●都市の低炭素化の促進に関する法律(低炭素建築物)(新築等計画の認定に関する事) ●建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律	建築指導課 092-643-3720
【法律】 ●食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)	園芸振興課(流通振興係) 092-643-3486
【条例】 ●福岡県産業廃棄物税条例	税務課 092-643-3063

※注:これらは主に環境部の事務事業に関連する法律、条例についてまとめたもので、ISO14001の規格の要求事項を全て網羅したものではありません。企業の業種によっては、この他にも法令等の規制を受ける場合がありますので、それぞれの法令担当の国、県、市町村の関係機関にお問い合わせください。

法律条例等に関するお問い合わせ先

福岡県の条例についてはインターネットで検索できます。福岡県例規全集をご覧ください。
https://www1.g-reiki.net/pref_fukuoka/reiki.html

また、県庁県民情報センター及び地区県民情報コーナーでは、「環境部関連例規集」として閲覧が可能です。

県庁県民情報センター	福岡市博多区東公園一丁目福岡県庁行政棟1階 TEL: 092-643-3108・FAX: 092-643-3107 福岡県環境白書も販売しています
地区県民情報コーナー	北九州県民情報コーナー: 北九州市小倉北区内7-8 小倉総合庁舎2階 TEL・FAX 093-581-4934 筑豊県民情報コーナー: 飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎1階 TEL・FAX 0948-29-5459 筑後県民情報コーナー: 久留米市合川町1642-1 久留米総合庁舎1階 TEL・FAX 0942-30-1030 京築県民情報コーナー: 行橋市中央1-2-1 行橋総合庁舎1階 TEL・FAX 0930-23-9189

このほか、県の条例とは別に各市町村でも独自の条例を制定している場合がありますので、該当の市町村へご確認ください。



参考文献一覧

- *1 環境省「温室効果ガス排出抑制等指針」
<http://www.env.go.jp/earth/ondanka/gel/ghg-guideline/>
- *2 エコアクション21 中央事務局
<https://www.ea21.jp>
- *3 エコアクション21 研究会
『改訂版 よくわかるエコアクション21 Q&A－基本から実務まで－』第一法規,2018
- *4 環境省「エコアクション21ガイドライン 2017年版」
<https://www.env.go.jp/policy/j-hiroba/ea21/guideline2017.pdf>
- *5 環境省「COOL CHOICE 地球温暖化の現状」
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/ondanka/>
- *6 福岡県「環境白書 令和2年版」2020
<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/gyosei-shiryo/kankyohakusho-r2.html>
- *7 気象庁「気候変動監視レポート2020」/全国地球温暖化防止活動推進センター
<https://www.jccca.org>
- *8 WWF JAPAN「パリ協定とは？脱炭素社会へ向けた世界の取り組み」
<https://www.wwf.or.jp/activities/basicinfo/4348.html>
- *9 環境省「脱炭素ポータル」
https://ondankataisaku.env.go.jp/carbon_neutral/about/
- *10 首相官邸「温室効果ガスの削減目標及び緊急事態宣言等についての会見」2021
https://www.kantei.go.jp/jp/99_suga/actions/202104/22bura.html
- *11 福岡県地球温暖化防止活動推進センター
「2018年度(平成30年度)福岡県温室効果ガス排出量算定結果報告書」2021
- *12 JCCCA「IPCC第5次評価報告書特設ページ」
<https://www.jccca.org/ipcc/index.html>
- *13 北九州市「緩和策と適応策」
<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/kankyou/00200187.html>
- *14 環境省「SBT等の達成に向けたGHG排出削減計画策定ガイドブック」2021
http://www.env.go.jp/earth/ondanka/datsutansokeiei/SBT_GHGkeikaku_guidbook.pdf
- *15 環境省「中小規模事業者のための脱炭素経営ハンドブック」2021
http://www.env.go.jp/earth/SMEs_handbook.pdf
- *16 バウンド
『60分でわかる！SDGs超入門』(株)技術評論社.2019
- *17 株式会社電通「SDGsコミュニケーションガイド」
https://www.dentsu.co.jp/csr/team_sdgs/pdf/sdgs_communication_guide.pdf
- *18 GRI、国連グローバル・コンパクト、WBCSD
「SDG Compass SDGsの企業行動指針 -SDGsを企業はどう活用するか-」
https://sdgcompass.org/wp-content/uploads/2016/04/SDG_Compass_Japanese.pdf
- *19 環境省「持続可能な開発目標(SDGs)活用ガイド[第2版]」
<http://www.env.go.jp/policy/sdgs/index.html>
- *20 経済産業省「SDGs経営ガイド」2019
<https://www.meti.go.jp/press/2019/05/20190531003/20190531003-1.pdf>
- *21 建築関連産業とSDGs編集委員会
『これからの工務店経営とSDGs(持続可能な開発目標)』日本建築センター.2020
- *22 環境省「COOL CHOICE」
<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/>

エコ事業所についてのお問合せ

福岡県環境部環境保全課地球温暖化対策係

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL: 092-643-3356 FAX: 092-643-3357
MAIL: chikyu@pref.fukuoka.lg.jp



本書(ふくおかエコ事業所応援book)についてのお問合せ

福岡県地球温暖化防止活動推進センター

〒813-0004 福岡市東区松香台1丁目10番1号
TEL: 092-674-2360 FAX: 092-674-2361
MAIL: fccca@keea.or.jp



本書はふくおかエコライフ応援サイトからダウンロードできます。

2021年9月発行